linearibus, basilaribus in pluribus seriebus laxis ala ibus quadratis. Cetera ignota.

Prov. Hunan austo-occid: In ditions oppidi Dsingdschou, ad rupes arenaceas prope vicum Sandjingtjiao; ca. 400m. (Nr. 11017).

Species distinctissima, H. tokiodensi (MITT.) BESCH. affinis, sed foliorum forma dignoscenda." V. F. BROTHERUS.

# みずお集(共一)

### 小林義雄 亘理俊次

Y. Kobayasi & T. Watari: Microphotograph of lower plants (I)

#### はしがき

著者達が仕事ノ餘暇ニ、半バ感興ノ趣クマ、ニ半バ寫眞操作ノ練習ノ爲メ附近ノ水溜リ、庭隅等ヨリ下等植物ヲ採ツテ來テハソノ顯微鏡寫眞ヲ撮リ始メテヨリ未ダ日モ淺イガ今机上ニハ駄作、秀作取リ交ゼテ色々ナ種類が積マレテアル。或ハ數囘ニ渉リ寫シ直シ、結局ソノ困難サニ匙ヲ投ゲタモノモアルシ、或ハ生物ノ佯リノナイ可愛イ姿ヲ印畫シ得テ莞爾トシテ二人顏ヲ見合セタモノモアル。サテ斯樣ニ並ベテ見ルトコレラヲ其儘自分達ノアルバムニ仕舞と込ムデ置クノモ何トナク惜シイ氣ガスルシ、ト云ツテ堂々ト人ニ勸メラルベキ程ノモノデモナイ。コレハ一ツ近頃ムヅカシイ論文ノ集ル此ノ誌上ヲカリテ、一寸シタ風物トシテ(或ハつまデモ良イガ)見テ戴イタラト云フ二人ノ考へノ一致ガ此ノ集ノアラハレトナツタ。斯様ナ次第デ別ニ分類的ニドウト云フ堅苦シイ意味ノモノデハナク、大體ニ於テ、藻菌類、蘚苔類ノ範圍デ順序、種類ノ撰擇ニツイテハマツタク自由ナ氣持デ進メテ行キ度イ。二人ノ間ニ執着心ト、時間的餘祐ノ存スル限リハ續イテ行ク事ト思フ。

現在マデニ用ヒタ寫眞裝置ノ材料ヲ参考マデニ下ニノートトシテ置ク。

顯微鏡寫真機: Leitz 製ノ Makam. 顯微鏡レンズ: 接物鏡; Zeiss 製ノ a₂(×3), AA (×10), BB(×20), DD(×40) 及ビ ×100(N. A, 1.3) 接眼鏡; Leitz 製ノペプリラン ×8, 10, 15 等。 光源: 藤井式照明装置=ョリ 500 ワットノタングステンランプラ用フ。フィルター: Agfa ノ 2,4,5 號、wratten ノ A,B,G 等。乾板: 上記ノフィルタート俱=寫ス

ベキ材料=應ジテ色々ナ種類ノモノヲ用ヒタ、例へバ**プロセス**(イルフオードプロセス)、普通乾板(イルフオード赤札)、整色性乾板(エペムノースクリーン、アグフア、イゾクローム)、全整色性乾板(東洋全整色乾板、イルフオード、スペシヤルラピツド、パンクロマテイツク乾板)。現像液:メトールハイドロキノン現像液。

其他ノ委シイテクニックニ關シテハ煩雜ヲ避ケル爲メニ一切省略スル。

寫眞ハスベテ實物=忠實ヲ寫シトルコトニ努メタ積リデアル。修正ハ施シテハ居ラナイ。相當苦心シテ寫シタモノデモ餘リ見榮エノセヌモノモアルシ、又他ノ寫眞トノ排列上及ビ構圖ノ取リ方ニョツテ見劣リノスルモノモアル。ウマク印畫シ得テモコレヲ印刷ニ附スルト感心シ得ヌ場合モ起ツテ來ル。コレラノ 缺點ハ回數ヲ重ネルニシタガヒ次第ニ除ク事ガ出來ルト思フ。

みずお、コレハ山地ヤ北ノ寒イ地方ノツメタイ水中=生キテヰル動物トモ、植物トモ定マラヌ單細胞ノ生物デ多數ノ個體ガ粘質ノ中=集ツテ絲狀ヲナシ、水底ノ石片ノ上等=着イテヰル。我國デハ矢部吉禎博士ガ未ダ御若カツタ時分、信濃ノ山地=見出サレタノガ初メデアル。一ハ流水中=無心デュレテヰルコノ原始的ナ生物=愛着ヲ持チ、一ハ晩年=於テ淡水藻類ノ御研究ヲ初メラレタマ、長逝セラレタ故先生ヲ偲ビ度イ氣持デ、ユカリノアル名ヲトツテみずお集ト名付ケル。

#### 1-2. Oscillatoria princeps VAUCH. (Oscillatoriaceae)

頭藻ト稱サル、モノノー種デ、溜水上=濃イ藍絲色ノ群體ヲナシテ浮遊シテ居ル。多數ノ圓盤狀ノ細胞ガ連ツテ絲狀ヲナシ、先端ハ稍細マツテ偏曲ス。端細胞ハ稍圓ク帽狀ヲナス事第1圖=示サル、通リ。本種ハ此屬中=テ太イ部=屬シ太サ 40μ 内外、細胞ノ内容=關シテハ、寫眞=テ、周邊一様=淡色=寫レル部分ハ Chromatoplasma ト稱シ、此中= Chlorophyll, Carotin, Phyeocyan, Phyeocrythrin 等ヲ含ム、ソレヨリ内側ノ顆粒狀 =見エル部分ハ Centroplasma デEndoplast ガ此ノ中=アリ密=集ル。

緑狀體ノ分離=際シテハ第 2 圖ノ中央= 示サル、様 = 豉狀ノ trennungs Disk ヲ任意ノ場所=生ジ、此ノ部分ハ淡色デアツテ、內容空虚トナリ、後分離點トナル。同圖=テ旣=分離シタ個體ノ一端ガ示サル。

本屬ノ種類ガ搖錘運動ヲナス事ハ周知ノ事實ニシテ寫眞撮影ノ際デツキトスライドノ間ノ水ヲ極度ニ取リ、兩者ヲ密着セシメテ間ノ植物體ヲ固着セシメテ早ク寫シタノデアル。 採集地 東京文理大構内占春池 (Dec. 1933)

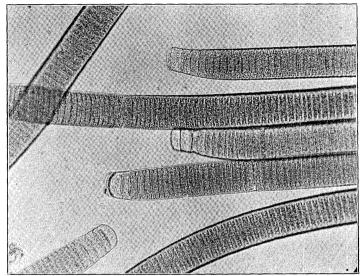


Fig. 1. Oscillatoria princeps Veuch.  $ca \times 200$ 

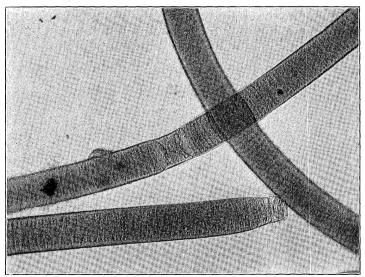
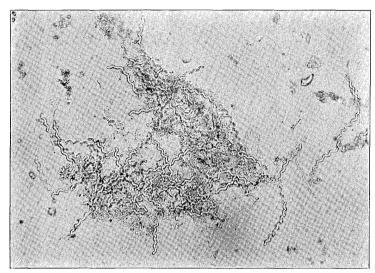


Fig. 2. Oscillatoria princeps Vauch.  $ca \times 200$ 

### 3-4. Arthrospira Jenneri Stiz. (Oscillatoriaceae).

らせんも屬ノー種デアツテ水面=浮ンダとちかゞみノ葉ノ下面=藍綠色ノ群 體ヲシタルモノヲ採集シタ。體ハ螺旋形ヲナシ、割合=密=横ノ隔壁ヲ有シ此 處ガ分裂點トナル。細胞ノ太サ  $4-5\mu$ , 螺旋ノ幅  $8\mu$  程、ユルヤカナ 回 轉



運シス般隔ニルArth ニ際明モ 財前。横ヲメ類rth レノナノ ナ進一ノ明得ヲs屬、分イヲ

Fig. 3. Arthrospira Jenneri Stiz. ca×300

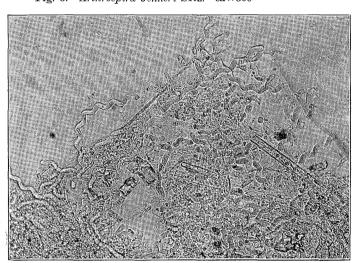


Fig. 4. Arthrospira Jenneri Stiz. ca×600

### 5. Stigonema sp. (Stigonemataceae)

濕氣アル 土上=黑褐色ノ厚イ膜狀又ハ 不規則ナ疣粒狀ヲナシテ擴ツテヰル。

形ハカヘルノ卵ヲ連想セシメル球形ノ細胞ガ寒天質中ニ數列又ハー列ニ並ビ、 全體ガ短イ紐狀ヲナシ、所々分枝ス。寫眞ノ品ハフォルマリン漬ニシタモノー 部ノ細胞稍收縮セリ。併シ大體ニ於テ原形ヲ維持ス。

採集地 富士表口 (Aug. 1927)

6-7. Anabaena Azollae STRASB. (Nostocaceae)

あかうきぐさノ葉ノ空室内ニ寄生スル藍藻デアツテ、淡緑色ノ楕圓形ノ細胞ガ念珠狀ニ連リ、ソレラノ間ニハ稍大形ノ細胞アリ、コレヲ異質細胞(Hetero-

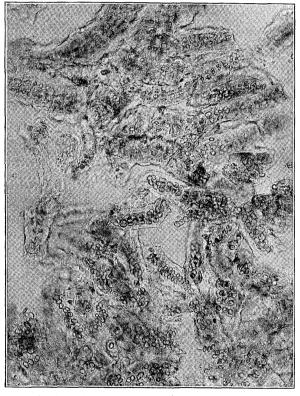


Fig. 5. Stigonema sp. ca×150

6 圖ノあかうきぐさ ノ空室上部、及ビ右下、 7 圖ノ一端等ニ棍棒狀 ノ細胞ガ見エル。コレ ハあかうきぐさノ體細 胞ヨリ突起シタ毛デア ツテ、コレガ橋渡シト ナツテ兩植物體ニ生理

的關係ノアル事ヲ見出シタ Strasburger, Oes, Limberger 諸氏ノ研究ノ結果ハ此處デ御紹介スルマデモナカラウ。

採集地 東京小石川植物園內池 (Dec. 1933)

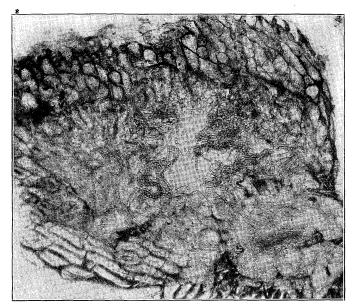


Fig 6. Anabaena Azollae Strasb.  $ca \times 70$ 



Fig. 7. Anabaena Azollae Strasb  $ca \times$ 

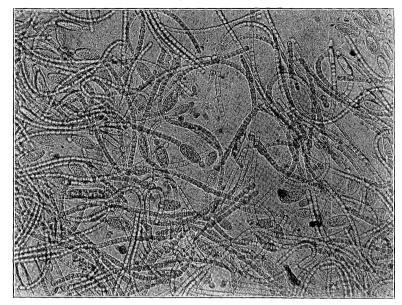


Fig. 8.  $Cylindrospermum\ sp.\ ca \times 300$ 

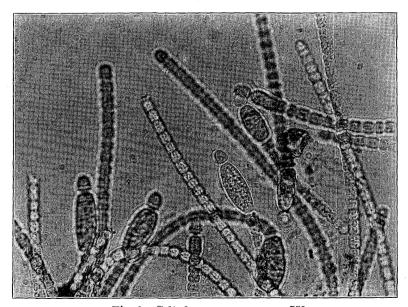
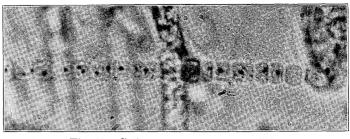


Fig. 9. Cylindrospermum sp.  $ca \times 750$ 

#### 8-10. Cylindrospermum sp. (Nostocaceae)

溫室內ノ植木鉢ノ土上ニ濃藍綠色ノ膜狀ヲシテ居ルモノヲ採ツタ。概形ハ念珠藻=似テ淡イ寒天質=ヨツテ包マル。細胞ハ短中圓筒狀ヲナシ、念珠ノ一端=ハ小判形ノ細胞アリ、更=ソノ端=小サナ細胞ガー個ヅ、生ジテヰル、前者ハコレヲ休眠胞子(Hypnospore)ト稱シ、二層ノ膜ヲ有シ、或ル休眠期間ガ過ギルト膜ハ破レテ新植物體ヲ發芽スル。後者ハ異質細胞(Heterocyst or Grenz-

zelleデアツテ コレガ念珠ノ 一端ニノミ生 ル事ガ本屬ノ 特徴トナツテ ヰル。10 圖ハ 倍率ヲ大ニシ



テ寫シタ爲メ

Fig. 10. Cylindrospermum sp.  $ca \times 1500$ .

寫眞ノ明瞭サヲ缺クガ、細胞ノ Centroplasma デ、Endoplast ノ間ニ介在シテヰル Volutin Körper ヲ染色シタモノデアツテ黑イ點狀ニ見エルモノガコレデアル。新鮮ナ個體ニメチレンブラウ(0.1% 水溶液)ヲ作用セシメ、次ニ 1%ノ硫酸ヲ滴下スレバ Volutin Körper ノミ濃藍色ニ染マル。

## しづる横濱市内ニ産ス

## 久 內 清 孝

Kiyotaka HISAUCHI: New localities of Scirpus nipponicus

Makino in Japan.

しづねハ我邦デハ 1904 年 植物學雜誌 XVIII, p. 112 = 於テ牧野博士ガ Scirpus nipponicus Makino ノ學名デ記載發表サルタルニョリ始メテ世ニ知 ラル。然シテ磐城國八幡村 (1890) 及下總國間 × (1893) = 採集サレタモノガ基 本標本デアツテ其後博士ハ武州井ノ頭公園=於テ其ノ盛ン=發育スルヲ見タル 事アルヲ語ラレタリ。余ハ曾テ飯柴永吉氏ョリ仙臺附近=於テ氏ノ採集サレタルモノヲ贈ラレタル事アルモ其標本ハ東大植物教室へ寄贈シ置キタリ。マタ余